



近鉄新田辺駅西口周辺



櫻井 立志 議員
(公明党)

中心機能を有した文化施設は

図 文化振興計画策定に向け、どのような施策に取り組もうとしているのか。

〔教育部長〕 文化ネットワークづくりや文化活動の発表機会の確保、学校教育等における体験機会の充実などの施策の検討を進めていきたい。

図 文化芸術の中心的機能を有した新たな文化施設の設置について、市の考えは。

〔市長〕 中心機能を有した施設としては、本市の核となる新田辺駅を中心とした場所に、文化発信の拠点を設けたいと考えている。

図 本市は、国の緊急経済対策交付金を活用した高齢者元氣応援チケット配布事業を1年限定の単年度事業として予算計上している。介護予防という本来の趣旨に沿った継



ソーラーシェアリングの設備
(他市の事例)



塩貝 建夫 議員
(共産党)

ソーラーシェアリング導入を進めては

図 農業問題について、今、国連は、協同組合の発展を重視するよう各国政府に働きかけている。ところが安倍首相は、農協つぶしの暴走を加速させている。JA農協改革に対する市長の認識を問う。①TPP交渉について、市長は、国会決議に沿った意思を政府に表明すべきと考えるが。②「ソーラーシェアリング」(農耕しながら太陽光発電する)導入を検討してはどうか。

〔市長〕 ①JAが、地域農業の振興や地域社会の形成にとって、重要な役割を果たしてきた。改革に当たっては、組合員の意思が尊重されるべき。単位農協の自主性が強化されることは評価できる。今後の行方を注視したい。④TPPについて、衆参両院農林委員

会の決議を踏まえたうえで、国益にかなう最善の道を追求していただきたい。

〔経済環境部長〕 ⑤農地で営農しながら太陽光発電の設備を設置する許可事例はあるが、実証結果が出ていないため、その結果を見守りたい。

図 平成27年は戦後70年の歴史的節目の年であり、市長の認識を問う。⑥歴史問題「村山談話」「河野談話」について。⑦核廃絶をめざす問題について。

〔市長〕 戦後70年を迎えようとする今、戦争の恐ろしさや平和の尊さを後世に伝え、唯一の被爆国として、核兵器のない平和な世界の実現を訴えていく。なお、「村山談話」「河野談話」のコメントは差し控える。



一丁田多目的広場の全景



奥西 伊佐男 議員
(一新会)

多目的田 広場の今後の計画は

図 高齢化社会にあって、今後増加が予想される老老介護に関して、認知症を含む福祉対策への見解と、新たな地域包括支援体制の方針を問う。

〔市長〕 大きな社会問題として取組んでいる。今後、地域全体で見守る社会の実現を目指していきたい。

〔健康福祉部長〕 次期計画では適切な支援、サービスの提供や家族への支援強化を盛り込んでいる。地域包括支援については、市全体の連携システムの確立を進めていきたい。

図 防災に関して多くの事業に取組む中で、平成26年に実施した「消防フェア」の成果と、見えてきた今後の課題は何か。また消防団組織の中で、団員確保は課題であるが、不足している分団への取り組み状況について問う。

〔消防長〕 消防業務に対して市民の正しい理解と認識を得るため、今後も継続して実施したい。消防団員の不足地域へは、消防本部としても、応援態勢を確立し、広報による募集のほか、積極的に勧誘活動を実施している。

図 一丁田多目的広場の指定管理者制度導入後の現状と、当初の地元との約束事である全天候型施設の建設に向けた計画方針に変わりはないのか、その見解を問う。

〔教育部長〕 今後の方針については経緯と当初計画を念頭に置いて、地元の意見を聞きながら進める必要がある。

〔市長〕 当初の約束であり、今後、再確認しながら地元区と話をする機会を設けていく。



J R大住駅の階段と通路



青木 綱次郎 議員
(共産党)

市民の税負担の軽減を

図 国保税引き下げや都市計画税率引き下げなど、市民の税負担を少しでも軽くするための市の努力を求める。

〔市長〕 公共サービスの提供には多額の費用が必要。税の形で国民が公平に負担しなければならぬ。低所得者には負担軽減措置などある。

図 国民健康保険税は加入世帯の年間所得の1割を超え、重い負担になっている。国からの保険者支援金も活用して引き下げを。

〔市民部長〕 負担は決して軽くないと考えている。国からの支援金は約4千万円程度。保険給付費の増加に充当するため、引き下げは困難。

図 都市計画税は都市計画事業の財源のみに使つ目的税。都市計画事業費はかつての37億円から19億円に減額しており、税率を引き下げるべき。

〔市民部長〕 税率を引き下げることにより多くの一般財源を都市計画事業に充てることになり、現段階では困難。

図 J R大住駅にエレベーターの設置を。

〔建設部長〕 J R西日本へ引き続き要望していく。

図 花住坂公民館前道路の速度抑制対策を。

〔建設部長〕 田辺署へ要望し、平成25年に大型の速度規制標識8基が追加設置された。

図 花住坂の準幹線道路の三叉路に横断歩道設置を。

〔建設部長〕 地元自治会からも要望されており、現地調査とともに田辺署と歩行者の安全対策について協議している。